

<平成 27 年度>

農業委員会事務局の取り組み実績

I 重点施策・事業

◆農地台帳の公表

平成 27 年 4 月 1 日より、農地の効率的な利用の促進を図るため、改正農地法に基づき農業委員会事務局窓口において、農地台帳の公表を行います。公表は、請求に基づき農地の地目、面積、所有者の氏名など定められた項目を閲覧してもらうことにより行います。

あわせてインターネットでも農地台帳の公表を行います。

実績

- ・法定化による農地情報の公表について、市内農業者に配布する「枚方市農委だより」に情報を掲載し、4 月より開始した（閲覧数 2 件）。
- ・国による農地情報公開システム「全国農地ナビ」では、市内の農地情報の月のアクセス数は 582 件であった（6 月実績）。

◆農地適正管理システムの向上

法令業務や農地の適正利用の指導等の効率化を図るため、国が開発する地図システムとのリンクを検討します。

また、平成 26 年度に行った市内在住の農業者への調査と同様に、平成 27 年度は、市外在住の農地所有者に農地情報の調査を行い、農地台帳管理システム（農家、地番、面積等の農地情報のデータベース）の精度の向上を図ります。

実績

- ・市外在住農業者の農地情報調査を行い、農地台帳管理システムの精度向上に努めた（回収率 71.1%）。
- ・平成 28 年度運用開始予定の農地情報公開システム・フェーズ 2 については、引き続き、全国農業会議所と協議・調整を行った。

◆農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

農地の遊休化を防ぎ適正利用を図るため、農地銀行（農地の貸借等を進める組織）による農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りを希望する方々に閲覧していただくことで、双方の結び付けにつなげます。

また、都市農業ひらかた道場の研修修了生等の新規就農者においての利用権設定については、市と連携して取り決めを行い、就農に必要な農地確保に向けた取り組みを推進します。

実績

- ・農業者への情報提供や貸し借りの斡旋等により、新規設定 51,684 m²、再設定 7,711 m²の利用権設定を行った。
- また、このうち、研修修了生を含む新規就農者 4 名に対しては、15,417 m²の利用権設定を行った。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<業務改善のテーマ・目標>

| テーマ | 取り組み内容・目標 |
|--------------|---|
| 効率化を図るシステム作り | 農家、地番、面積等の農地情報を管理する農地台帳管理システムと、国が開発する地図システムとのリンクを検討することにより、農地の適正な現況把握や各種調査のための地図作成に係る事務作業の効率化を図る。 |

実績

- ・農地情報の一元管理・利用が可能な農地情報公開システム・フェーズ2の構築が進められており、引き続き、データの収集・提供、システムの把握・活用の検討を行った。

| テーマ | 取り組み内容・目標 |
|-------------|--|
| 窓口での相談体制の整備 | 窓口へ来局される相談者の相談体制を整え、相談の適正化やサービスの向上を図る。 |

実績

- ・様式及びチェックリストを活用し、より分かりやすくなるように努めた。また、新規就農希望者等の相談に対しては、農政部局と連携を図った。
- ・農業委員による農地や担い手等に関わる農家相談についても、引き続き実施した（1件）。

| テーマ | 取り組み内容・目標 |
|----------------|--------------------------------------|
| 事務処理のチェック体制の強化 | 現地調査の事務処理手続きに関する手順を作成し、チェック体制の強化を図る。 |

実績

- ・農業委員の費用弁償等の事務処理手続きに関する手順書を作成し、確実に実行した。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆農地台帳管理システムの精度向上に向けて行う市外在住の農地所有者に対する農地情報等の調査において、国の補助制度の活用を図ります。

実績

- ・国の機構集積支援事業の農業委員会費補助金を活用し、農地台帳管理システムの精度向上のための財源（924,555円）を確保した。

- ◆農業委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、新規加入者を増やすことにより、手数料等の交付金の増収を図ります。

実績

- ・年金加入推進担当の農業委員とともに、戸別訪問等の啓発活動を行った。また、新規就農者等の加入資格者に対して積極的に農業者年金の説明を行った。

- ◆事務経費や農業委員研修会の再点検を行い、消耗品や旅費等の縮減に努めます。

実績

- ・消耗品の在庫管理を徹底し、削減を図った。
- ・農業委員研修会の講師を職員等が勤めることにより、経費の縮減につながった。

IV 組織運営・人材育成

- ◆事務局内において運営方針に基づく組織目標の共有化を行うとともに、目標達成を確実にするため、各業務の取り組みに係る進捗管理の徹底を行います。

実績

- ・年度当初に各業務に係る目標、課題やスケジュール等を整理した「業務管理表」を各担当が作成し、職制において確認することにより、進捗管理の徹底を図った。

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報の共有化を図ることにより、組織力の向上を図ります。

実績

- ・朝礼時にスケジュール等の確認を行うとともに、各種会議や研修会の報告を行い、情報の共有化を図った。

- ◆各種研修会や府下等の業務担当者会議に積極的に出席するとともに、北河内地区の各農業委員会事務局との連携などを通じて、法令事務等にかかるスキルアップに努め、職員力の向上を図ります。

実績

- ・農業委員会組織制度改正に係る説明会や業務推進検討会等に参加するとともに、事務局内で情報の共有化を図り、組織力・職員力の向上に努めた。

V 広報・情報発信

- ◆ホームページの充実

平成27年4月1日より運用されるホームページ上での農地台帳公表システムを本市ホームページから閲覧できるようにします。

また、農業委員会での手続き等が、より分かりやすくなるよう、ホームページの改善に努めます。

実績

- ・アクセス数が全国で毎月100万件を超える「全国農地ナビ」に簡単にアクセスできるようホームページの改善を行った。また、手続き等がより分かりやすくなるよう見直しを進めた。

- ◆市内農業者向け情報誌の発行

定期的に発行している「枚方市農委だより」について、農家に必要な情報を適時提供できるように内容等の充実を図り、農業委員会活動がより身近に感じていただけるよう努めます。

実績

- ・8月及び1月の2回「枚方市農委だより」を発行し、農業者に情報提供を行った。